

SHIMODATE FIRST School Guidebook 2027

Discover your potential you have never imagined



さらなる高みへ。



茨城県立 SHIMODATE FIRST HIGH SCHOOL

下館第一高等学校

想像を超える自分に出会える学校



学校長
渡邊 英一

「あなたにとっての館一を見つけてみませんか？」

現代社会は、予測困難な変化が次々と起こる「正解のない時代」です。こうした時代において、本校は、自ら思考し、他者と協働して新たな価値を創造できる「自主自立の精神」を育むことを使命としています。1923年の創立以来、百余年の歴史の中で受け継がれてきた「不撓不屈」の精神は、今こそ必要な「折れない心」の源泉です。

2025年度からの進学重視型単位制への完全移行により、自らの興味関心に合わせて学びをデザインできる環境が整いました。DXハイスクールとしての探究活動や主体的な行事、部活動など、皆さんの可能性を引き出すための「仕掛け」を数多く用意しています。

「あなたにとっての館一を見つけてみませんか？」

この呼びかけには、生徒一人ひとりに異なるストーリーを紡いでほしいという願いを込めています。ここには「自分はどうありたいか」を追求できる無限の選択肢があります。教職員一同、皆さんが想像を超える自分に出会えるよう、全力でサポートします。



目指す学校像

自主自立の精神を有し、地域のリーダーや国際社会で活躍する
人材育成を目指し、生徒と教師がともに学び合う学校



目指す生徒像

課題を解決する力と新たな価値を
創造する力を持つリーダー

Communication

豊かな表現力や
コミュニケーション力を
身に付け
他者と協働しながら
課題を解決できる生徒

Challenge

答えなき課題にも
論理的な思考で探究を重ね
主体的に
チャレンジする生徒

Balance

未来のリーダーとして
活躍できる
知・徳・体のバランスの
とれた生徒



生徒会長あいさつ

生徒会長 石川 隼(附属中学校出身)

中学生の皆さん、こんにちは!皆さんはどんな「高校生活」を想像していますか?館一での毎日を充実させる鍵、それは「なぜ?」という好奇心を大切にすることです。本校には、皆さんの疑問を放置せず、納得いくまで答えを探究できる環境が揃っています。

例えば、生徒主体で創り上げる文化祭やクラスマッチ。さらには、地域の企業と連携して専門分野を深めたり、街の課題解決に挑む「探究活動」など、教科書を超えた学びがここにはあります。

ほかにも、課外活動や海外研修など、自分をアップデートできるチャンスが至る所に転がっています。「意志さえあれば、道は拓ける。」私たちと一緒に、この温かい学び舎で、まだ見ぬ「想像を超える自分」に出会ってみませんか?



君の学びの可能性を広げる館一独自のカリキュラム

～「進学重視型単位制」により、進路希望に応じた多様な科目選択を実現～

令和9年度教育課程(予定)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
1年	現代の 国語	言語文化	歴史 総合					数学Ⅰ	数学A	化学 基礎	生物 基礎	体育	保健	音Ⅰ/ 美Ⅰ		英コミュⅠ	論表Ⅰ	家庭 基礎	情報Ⅰ	探究														
2年理型	論理 国語	古典 探究	地理 総合	公共				数学Ⅱ	数学B	物理 基礎	化学	物理/ 生物	体育	保健		英コミュⅡ	論表Ⅱ	探究																
2年文型	論理 国語	文学 国語	古典探究	地理 総合	公共			日本史探究/ 世界史探究	数学Ⅱ	数学B	地学 基礎	体育	保健		英コミュⅡ	論表Ⅱ	探究																	
3年 サイエンス	論理 国語	古典 探究	地理探究/ 政治・経済					数学Ⅲ/ ※数学探究	数学C	化学	物理/ 生物	体育			英コミュⅢ	※総合 英語1	探究																	
3年 グローバル(理)	論理 国語	古典 探究	地理探究/ 政治・経済					数学Ⅲ	数学C	化学	物理/ 生物	体育			※国際英語 理解	※国際 英語実践	探究																	
3年 グローバル(文)	論理 国語	文学 国語	古典探究	政治・ 経済				※探究日本史/ ※探究世界史	数学B	数学C	※理科 探究1	※理科 探究2	体育		※国際英語 理解	※国際 英語実践	探究																	
3年 ヒューマニティー	論理 国語	文学 国語	古典探究	政治・ 経済				※探究日本史/ ※探究世界史	※文系 数学探究 / ※歴史 探究	数学C / ※総英2	※理探1/ ※国探/ ※時事/ ※実数	※理探2/ ※実英/ ※体理/ ※探究	体育		英コミュⅢ	※総合 英語1	探究																	

※学校設定科目



進学校ならではの質の高い授業

～授業満足度アンケートで高評価を獲得～(令和7年度生徒による授業評価で授業満足度4.0満点中3.6を達成)

主体的に深く学べる授業展開



生徒が思考力・判断力・表現力を身に付けられるよう、生徒主体の活動を採り入れた、主体的・対話的な授業を展開しています。

ICT機器の活用



生徒は個人用のiPad端末で、ロイロノート等を利用した双方向通信機能をいかし、活発に授業に取り組んでいます。また、各教室には電子黒板を設置し、ICT機器を効果的に取り入れた授業を展開しています。



教諭 森 健人

本校の英語教育では、社会的・国際的なトピックを扱いながら、実践的な英語力の向上を目指しています。授業では、音読・スピーチ・ディベートなどの言語活動を積極的に取り入れ、生徒が自らの英語をアウトプットする機会を大切にしています。

また、複数名のALTが常時勤務しており、英語の細かなニュアンスに関する質問にも対応できるほか、日常的に英語でコミュニケーションをとれる環境が整っています。

3年間の学びを通して、英語の基礎的な運用能力を身に付けることはもちろん、難関大学入試や各種英語資格試験にも対応できる本物の英語力を育成していきます。



疑問「？」が解決「！」する爽快感 館一の探究活動「紫西ゼミ」

「紫西ゼミ」とは… 生徒の趣味や関心から、同じようなテーマごとにゼミを開きます。
各ゼミは18名程度で、教員が1名付き、面談・報告を行いながら探究を進めていきます。

紫西ゼミロードマップ



探究が未来を拓く | 探究での挑戦が、進路選択を後押しすることがあります。卒業生2名の声を紹介します。



現場経験が 進路を具体化した

大島 胡桃
(結城中学校出身)

茨城大学教育学部
学校教育教員養成課程
教育実践科学コース

私はもともと教員志望だったので、将来の夢に近づきたいと思い、教育をテーマに探究活動に取り組みました。そして大学の先生にご協力いただき、小学校で模擬教育実習を行いました。

実際に教員の立場で学校へ行ってみると、座学では学べない、授業づくりの工夫や子どもたちとの関わり方を、現場で具体的に学ぶことができました。その経験を通して、私は特に「子ども理解」や「学校づくり」といった教育学の分野に強い関心があると気づき、進路をより具体的に考えるきっかけになりました。

大学では、子どもたちの多様な個性に応じて、それぞれに合った指導ができる力を身に付けていきたいです。下館一高の探究活動には、先生方や地域の方のサポートがあり、興味のあることに自由に挑戦できる環境があります。探究が、みなさんの将来の可能性を広げる「きっかけ」になることを願っています。



探究で出会った 「新しい夢」

新井 菜生
(明野中学校出身)

茨城大学教育学部
学校教育教員養成課程
特別支援教育コース

私は小学生の頃から、特別支援学校の先生になりたいという夢がありました。そこで探究活動では、「模擬教育実習をやってみたい」と考え、大学の先生に直接相談し、小学校での実習を実現することができました。

実習では、通級指導室の授業に参加したことをきっかけに「インクルーシブ教育」に出会いました。インクルーシブ教育が思うように進みにくい現状がある中で、障害や言語などさまざまな垣根を越え、誰もが学びたい場で学べる環境づくりを少しでも前に進められる教員になりたい——そんな新しい目標が生まれました。

この夢を叶えるために、大学では特別支援教育を学び、特別支援学校はもちろん、通常の学校でも力を発揮できるよう努力していきたいと思っています。探究活動は自由度が高く、自分の夢に近づいたり、新しい夢に出会えたりする貴重なチャンスです。ぜひみなさんも、「やってみたい」と思ったことに、思い切ってチャレンジしてみてください。



世界で生きる力を、ここで。館一のグローバル教育

グローバル教育アドバイザー



明治大学経営企画担当常勤理事
筑波大学人間総合科学研究群講師 **岡田 誠司**(本校51回卒業生)

私は、40年余りの外交官生活の中で、アフガニスタン、南スーダンなどの紛争国家での和平を実現するため外交、米国との経済摩擦を解消するための外交、パチカンという特異な国家による価値観外交など多様な世界を経験してきました。そこで学んだことは、グローバルに生きるということは単に英語を話すことではなく、世界的な視野に立ち自分の信ずる価値とは何かを明確にし、異なる背景を持つ人々の意見を傾聴し、対話する力です。

私は外交官として培った経験と、そのような知見を現在大学で教えている経験を通じて、下館一高の探究プログラムが、常に変貌する国際社会の中でより深い学びとなるように、企画、評価に助言を行います。海外研修等の指導を通じ、生徒の皆さんが教科書にはない「生の国際情勢」を感じ、多角的な視座を養えるように導きます。皆さんの瑞々しい「なぜ?」という問いが、国境を越え、世界をよりよくするための確かな知恵へと昇華されるよう、校長や先生方と手を取り合い伴走してまいります。



関彰商事株式会社
代表取締役社長 **関 正樹**(本校58回卒業生)

下館一高並びに附属中学校に通われている生徒の皆さんは、世界を舞台に仕事をしたい、あるいは地元で家業を引き継いで持続的な成長をしていくなど様々な志や背景をお持ちのことと思います。しかし、経済のグローバル化、人材不足からの海外人材の流入など、社会・経済の情勢を鑑みますと海外との接触抜きに仕事をすることが難しいのは自明であるといえます。その意味でグローバル教育は生徒の皆さんの将来にとってとても大切な要素であると考えています。

私が経営する関彰商事株式会社は、2014年にベトナムに進出したことを端緒としてインドなど様々な国とのビジネス交流を進め、また弊社では13カ国63名の社員が働いております。私はグローバル教育アドバイザーとして、先生方がおつくりになられましたカリキュラムに加え、よりリアルなコミュニケーションの機会や、海外と触れる場の提供、海外とのネットワークを活用した情報提供などでお役に立ちたいと考えています。

校長先生をはじめ、先生方と下館一高独自の挑戦として国際教育をさらに充実させ、生徒の皆さんの世界への飛躍をバックアップして参ります。

グローバルキャリア
サポートカンパニー



関彰商事株式会社

2025年度紫西ゼミ・グローバル教育活動報告



スポーツアナリティクス



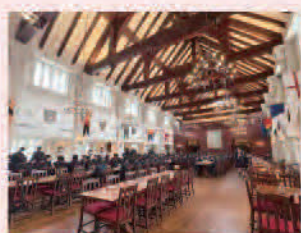
自動運転



ピアフェス



しあわせグミ



ブリティッシュヒルズ語学研修



オーストラリア研修



台湾学校交流



海外インターンシップ



生徒の希望に寄り添う進路指導

視野を広げる

企業訪問



希望する企業を訪問し、社会との関わり方や働くことの意義について理解を深めます。

大学見学会



様々な分野の大学を見学し、大学の学びや生活のイメージを膨らませます。(昨年の例: 東京大学、東京外国語大学、一橋大学、早稲田大学など)

みらい探究カフェ



都内の大学生ボランティアの方に来校していただき、文理選択などについての進路相談を行います。

紫西プレカレッジ



大学の先生方を本校にお招きし、さまざまな分野の授業を模擬体験します。(昨年の例: 筑波大学、福島大学、埼玉大学、群馬大学)

実力を養成

課外授業(平常・夏季)



大学進学に向け、英数国を中心とした課外を早朝・放課後・夏季休業中に実施しています。

難関大講座



予備校の先生をお招きして、難関大・医学部への進学希望者向けの講座を実施しています。

年内入試に対応

進路講演会



現在の大学入試では学校推薦型・総合型選抜の入学割合が増加し続け、過半数以上を占めるようになりました。私立大学ではその傾向が顕著です。本校ではこういった動向に対応するため、進路講演会や小論文講座を実施し、年内入試への理解や対応力を育みます。

小論文講座



館一では、国公立大学合格80名以上、難関私立大学合格50名以上を目標に設定!

上記以外にも「長期休業前の学習アドバイスの発行」「塾との情報交換会の実施」「二者面談を通した生徒の進路希望の把握」「模試分析会の計画実施」「大学合格者との懇談会」など生徒の可能性を最大限に引き出す、きめ細やかな進路支援を実現!

学びの新拠点! 紫西会館に自習スペースが誕生

- 平日は19:00まで利用可
※閉館時間が異なる日があります
- 土曜開放 9:00~16:50
※令和8年度は
計52日間(年末年始含む)の開放を予定
- 年末年始開放
共通テストに備えることができます



館一生の百冊リニューアル

令和8年3月に「館一生の百冊」が改訂され、第5版となりました。

館一生におすすめの本を紹介します。

紹介例

- 龍本哲史『武器としての決断思考』
(朝日新聞社出版)
- 宮口幸治『ケーキの切れない非行少年たち』
(新潮新書)
- 蛭川雅晴『教養としての「地学」』
(PHP出版)
- 宮島未奈『成瀬は天下を取りにいく』
(新潮社)
- 雨瀬シオリ『ここは今から倫理です。』
(集英社)

※学校HPでは100冊すべてを公開しています。



夢を叶えた先輩たち

ほぼ全員が四年制大学への進学を希望し、そのほとんどが合格を勝ち取っています。

過去3年間の大学合格者数(のべ人数)

国公立大学名	令和7年度	令和6年度	令和5年度
弘前大	0	1	2
岩手大	0	0	1
東北大	1	0	1
秋田大	1	0	0
山形大	3	1	1
福島大	4	3	2
茨城大	19	16	22
筑波大	2	3	5
宇都宮大	8	11	9
群馬大	2	1	2
埼玉大	2	6	3
千葉大	1	2	1
電気通信大	1	0	0
東京科学大	1	1	0
東京芸術大	0	1	0
山梨大	1	0	0
信州大	0	0	1
その他	4	3	4
国立大合計	50	49	54
茨城県立医療大	1	3	4
群馬県立女子大	0	3	1
高崎経済大	1	3	3
前橋工科大	0	4	2
千葉県立保健医療大	1	0	0
横浜国立大	0	0	1
都留文科大	1	1	0
その他	1	6	3
公立大合計	5	20	14
国公立大合計	55	69	68

私立大学名	令和7年度	令和6年度	令和5年度
国際医療福祉大	19	26	18
獨協大	9	15	13
文教大	34	23	25
青山学院大	3	0	2
学習院大	0	2	3
北里大	2	5	5
慶應義塾大	1	2	1
國學院大	2	2	1
駒澤大	7	13	10
芝浦工大	3	6	3
順天堂大	4	1	2
上智大	1	2	0
成蹊大	1	2	4
成城大	3	2	2
専修大	1	13	9
中央大	5	7	4
津田塾大	2	1	0
東京女子大	2	4	8
東京理科大	8	2	1
東洋大	15	27	43
日本大	13	21	29
日本女子大	2	2	3
法政大	4	6	6
明治大	5	2	4
明治学院大	5	7	8
立教大	1	4	3
早稲田大	0	5	0
立命館大	0	1	0
関西学院大	0	1	1
その他	258	290	255
私立大合計	410	494	463

令和7年度 推薦指定校

自治医大(看)、獨協医大(看)、慶應義塾大、國學院大、成蹊大、成城大、専修大、中央大、東京理科大、東洋大、日本大、法政大、明治大、明治学院大、関西学院大 等多数
(※今後変更もあり得ます)



横塚 ひばり
(附属中学校出身)

筑波大学
人文・文化学群
比較文化学類

下館一高には、意欲のある生徒が学習に打ち込める環境が整っています。充実した自習室のおかげで、放課後や長期休業中も集中して励むことができ、課外授業ではより実践的な力を養うことができました。

先生方は受験の悩みに親身に耳を傾け、直前期には個別指導や的確なアドバイスで支えてくださいました。また、学習面だけでなく、部活動や行事の運営に全力で取り組む生徒も多く、友人からは日々大きな刺激を受けました。受験期、休み時間の何気ない会話が、私にとって最大の息抜きとなりました。

こうした環境面での支えと、切磋琢磨し合える仲間が存在があったからこそ、苦しい受験を最後まで走り抜くことができたのだと感じています。この学校で過ごした時間や出会った人々は、私にとってかけがえのない財産です。皆さんもぜひ下館一高で、実りある学校生活を送ってください。



松本 瑛亮
(下館北中学校出身)

東北大学
工学部
材料科学総合学科

下館一高での3年間は、自分の「やりたい」に全力で挑戦し続けられた時間でした。

古き良き自由な校風のもと、私の意志を温かく受け入れ、背中を押してくれる環境がありました。当時は勉強と部活動の両立で精一杯でしたが、今振り返れば、執行部として創り上げた個性あふれる学校行事や、高校生の視点で地域に関わったボランティア活動など、かけがえのない財産で溢れています。

私はこの学び舎で、特に学習面において「想像を超える自分」に出会うことができました。「意志さえあれば、道は拓ける」。下館一高は、そう確信させてくれる場所です。

みなさんも館一で、まだ見ぬ自分に出会ってみませんか？ 我慢せず、自分らしく生きた時間は、一生の宝物になります。そんな最高の3年間で、ぜひ下館一高で創り上げてください。



谷田 優太
(附属中学校出身)

山形大学
医学部
医学科

私は附属中学校からの6年間を下館一高で過ごしました。高校生活では、学習や部活動、学校行事など、やるべきことが次々と押し寄せてきます。それらをすべて全うするのは決して容易ではありませんが、乗り越えるための大きな原動力となったのは仲間の存在でした。

たとえ目指す道は違っても、身近な友人が必死に頑張る姿は、何よりも心の支えになります。一人ひとりが精一杯に日々を過ごすことで学校全体の活気が高まり、それがまた自分を奮い立たせてくれました。もし困難に直面しても、周囲には頼れる友人や先生方が必ずいます。本音を打ち明けられる存在を見つけることも、受験勉強を最後まで戦い抜く秘訣だと思います。

綺麗事だけでは済まない苦労もあるはずですが、仲間と共に高め合える「館一」での3年間で、ぜひ全力で駆け抜けてください。皆さんの充実した学校生活を、心から応援しています。



中島 凜
(附属中学校出身)

東京科学大学
工学院

下館一高は、生徒の能力を最大限に引き出してくれる学校です。校舎は朝7時から夜19時まで開放されており、自習室や教室など、集中して学習に取り組める環境が整っています。資料も充実しており、様々な大学の赤本を自由に活用することが可能です。

先生方も非常に熱心で、進路相談はもちろん、過去問の解説なども丁寧にしてくれます。また、部活動では高校から競技を始めた生徒が関東大会や全国大会に出場する例も少なくありません。さらには数学オリンピックなどの大会に挑戦し、自らの可能性を追求することもできます。

ただし、これらの恵まれた環境は、自ら積極的に活用しようとする意志があってこそ真価を発揮します。この学校には、一歩踏み出す勇気さえあれば活用できるリソースが豊富にあります。ぜひ早い段階から学校を味方につけ、悔いのない充実した高校生活を送ってください。



学校行事

～仲間とつくる、かけがえのない時間～

4月

- 入学式
- 二者面談週間
- ブリティッシュヒルズ語学研修

5月

- PTA総会
- 生徒総会
- 第1回考査

6月

- 性に関する講演会(1年)
- 七曜祭
- 大学見学会(2年)

7月

- 野球応援
- 三者面談
- 学校説明会

8月

- 夏季課外
- オーストラリア研修
- 第2回考査

9月

- 二者面談週間
- クラスマッチ
- 企業訪問(1年)

10月

- 紫西プレカレッジ(1年)
- 修学旅行(2年)
- 生徒会役員選挙

11月

- 第3回考査
- 学校公開
- 避難訓練

12月

- グローバル教育成果報告会
- 小論文模試(1・2年)
- 三者面談

1月

- 大学入学共通テスト(3年)
- 三者面談(3年)
- 探究中間発表会(1年)

2月

- 第4回考査
- 探究発表会
- 入学試験

3月

- 卒業式
- 終業式
- 合格者説明会



執行部

下館一高の行事は、先生方の温かいご指導のもと、私たち生徒が企画から運営までを担っています。前例を大切にしながらも、部員一同で協力し、「どうすればより皆に楽しんでもらえるか」という視点を忘れずに準備を重ねてきました。『自分たちの手で、等身大の感動を創る』—そのやりがいこそが、館一の誇れる魅力です。

中学生の皆さんも、本校に入学して私たちと一緒に「学校を動かすワクワク」を味わってみませんか?館一らしい活気あふれる行事を目指して精一杯努めますので、皆さんと新しい景色を創り上げられる日を楽しみにしています。





館一生の一日



制服紹介



夏服: 白半袖シャツ、紺色ポロシャツ、白色ポロシャツのいずれかを自由に選べます。

冬服: 耐久性があり軽量で、襟元のブルーパイピングで独自性が高まる。男子の学生服は、詰襟が着こなしやすいマオカースタイル。スラックスは動きやすく、通気性に優れています。女子のブレザーはスタイリッシュなシングル2つボタンを採用。スカートは美しい織のシャドーチェック柄で、ロイヤルブルーのラインが爽やかです。



部活動

～挑戦が、自信に変わる～

運動部

硬式野球／軟式野球／サッカー／ハンドボール／バスケットボール／卓球／
硬式テニス／ソフトテニス／陸上競技／登山／バレーボール／柔道／剣道／
弓道／バドミントン／ライフル射撃／ダンス／チアリーディング／水泳

文化部

ボランティア／書道／茶華道／
美術／理科／写真／文芸／英語／
放送／音楽／吹奏楽



祝 上位大会へ進出

- ライフル射撃部 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会出場
- 文芸部 全国高校生短歌大会(短歌甲子園2025)出場
- 理科部 日本学生科学賞出展
- 登山部 関東高等学校総合体育大会登山競技会出場
- 写真部 関東地区高等学校写真展東京大会出展
- 弓道部 東日本高等学校弓道大会 出場





生徒会活動



令和7年度生徒会活動実績

- 10月 下館駅前挨拶運動
- 11月 学校の紹介ポスターをピアフェスで披露
- 12月 筑西警察署SNS犯罪被害防止
啓発動画コンテスト最優秀賞
ちくせいハーフマラソンボランティア
- 3月 竹園高校訪問
- 通年 あいさつ運動(校内)
- その他 Instagram開設(予定)



在校生からのメッセージ



安達 海翔(岩瀬東中学校出身 書道部)

下館一高の魅力は、生徒が主役となる課外活動や学校行事の充実ぶりにあります。自ら考え、計画し、仲間と協力して一つの目標を達成する過程は、他では得がたい経験です。

私自身、生徒会執行部での行事運営を通じて、責任感やチームで動くことの難しさと喜びを学びました。また、館一独自の探究活動である「紫西ゼミ」では、多角的な視点から物事を考える力を養ってくれます。

下館一高には、挑戦を後押しし、自分自身を更新し続けられる環境があります。私たちと一緒に、まだ見ぬ自分の可能性を大きく広げてみませんか。



田崎 唯愛(桃山学園出身 バスケットボール部)

本校では、日々の授業で基礎を大切にしながら応用力を伸ばし、仲間との学び合いを通じて主体的に考える力を身に付けることができます。また、課題や小テストの積み重ねによって学習習慣を確立し、着実に実力を向上させることが可能です。

学習面だけでなく、部活動や学校行事に全力で取り組める環境も整っています。私はバスケットボール部に所属し、日々の練習に励みながら学習との両立に挑戦しています。学校行事では、附属中の生徒とも学年を超えて交流を深めることができ、学校全体の一体感を肌で感じられます。

この学校での経験を通して、自分の可能性をさらに広げてみませんか。皆さんの入学を心よりお待ちしております。



鈴木 煌大(協和中学校出身 登山部・硬式テニス部)

下館一高には、進路について深く考え、勉強や部活に集中できる環境が整っています。学習面では、希望や必要に応じて毎週受けられる「教科課外」が特徴です。本質的な学習を通して応用力を鍛える講座もあり、先生方はどんなに小さな疑問にも丁寧に指導してください。

また、進路行事も充実しています。外部講師による講義で視野を広げ、企業訪問で職業への理解を深めることができます。こうした経験を通して、私は将来に対する考え方をより深めることができました。

さらに、部活動も多様で、自分に合った活動を見つけやすいことも魅力の一つです。全力を出せる環境が整った下館一高で、私たちと一緒に学び、成長しませんか。



國府田 陽愛(下館中学校出身 茶道部・チアリーディング部)

下館一高の一番の魅力は、誰もが何事にも挑戦し、探究できる環境が整っている点にあると思います。例えば、行事ごとに結成される「実行委員会(執行部)」では、興味があれば誰でも運営に挑戦できます。何事も生徒主体で進められており、私自身も生徒会活動を通して、日々かけがえのない経験を積んでいます。

また、希望制の「紫西CS」では、模試対策だけでなく、自分の興味・関心に合わせたワークショップや特別授業が開講されています。そこでは自分の好きな分野を深く探究し、貴重な体験を得ることが可能です。

このように下館一高は、座学だけでは得られない「本物の体験」に溢れています。毎日驚きが更新されていくような、刺激的な日々をここで一緒に過ごしてみませんか。

出身中学校別生徒数

出身校	1年	2年	3年	全体計
下館一高附属中	38	40	39	117
下館	22	20	24	66
下館西	17	14	14	45
下館南	21	8	17	46
関城	7	6	4	17
明野			11	11
明野五葉学園	7	6		13
協和	8	17	9	34
結城	17	22	19	58
結城東	10	10	16	36
結城南	4	7	7	18
八千代一	2		1	3
八千代東		1	1	2
下妻	8	3	7	18
下妻東部	3	3	1	7
千代川		1	2	3
岩瀬東	8	9	4	21
岩瀬西	11	16	12	39
大和	6	7	9	22
桜川		10	1	11
桃山学園		10	10	20
真壁学園	13			13
笠間	1		1	2
稲田		2		2
友部	3	2	3	8
友部第二		3		3
総和北	1			1
総和南		1		1
三和	1		1	2
猿島	1			1
石下	3	2		5
石下西	2			2
豊里	1			1
秀峰筑波		1	1	2
戸頭	1			1
県内計	216	221	214	651
小山城南			1	1
絹義務	1	2	2	5
真岡	1		4	5
真岡東	1		1	2
真岡西	2	2		4
山前	1		1	2
中村			4	4
長沼	1	3	4	8
久下田	2	4	6	12
物部	2	2	1	5
田野		1		1
益子	3		1	4
市貝		1		1
その他	2			2
県外計	16	15	25	56
合 計	232	236	239	707

沿革

大正11年 茨城県立下館商業学校として設立・翌年開校
 昭和23年 茨城県立下館高等学校を開設
 昭和24年 茨城県立下館第一高等学校に校名変更
 昭和37年 工業科募集停止。
 下館工業高校開校
 昭和47年 商業科募集停止。
 鬼怒商業高校開校
 平成23年 定時制閉課程
 令和2年 附属中学校を併設
 令和5年 創立100周年



校章「七曜紋」

昭和21年4月採用



校章に描かれている紋章は七曜紋といい、北斗七星を形象化したものです。七曜とは、中国の天文では日・月・火・水・木・金・土を表しています。長い歴史を持つこの校章は、生徒達に「片時も自己の使命を忘れず努力すべし」という励ましや「七つの海(すなわち世界)へはばたけ」という希望を託しています。

学校説明会

8月4日(火)
 ①10:00~11:30
 ②14:00~15:30
 場 所
 県生涯学習センター多目的ホール
 (筑西市野殿1371)
 内 容
 学校概要説明
 高校生による学校紹介、相談会
 申込期間
 6月15日(月)~7月3日(金)

部活動体験会

8月5日(水)~7日(金)
 の3日間
 申込期間
 6月29日(月)~7月17日(金)

学校公開

11月3日(火)
 9:20~12:30
 内 容
 授業公開、個別相談
 事前申し込み不要



茨城県立
下館第一高等学校

〒308-0825

茨城県筑西市下中山590

TEL.0296-24-6344

FAX.0296-25-4673

<https://www.shimodate1-h.ibk.ed.jp>

